

シリーズ「自治体公共施設の有効活用」

～新しい自治体経営モデルを構築する～

開催趣旨 自治体は今、大幅な税收減、人と公共施設(ハコモノ)の老朽化、追加経済対策による公共事業依存という3つの経営危機に直面しています。この危機を自治体が乗り越えていくための方法として、PHP 総合研究所は先に、政策提言『自治体公共施設の有効活用』を発表いたしました。

本セミナーでは、その内容をふまえ、ハコモノのコスト・パフォーマンスの実態把握、評価方法、改善策の立案、その効果などについて具体例を交えて解説し、限られた予算の配分と新たな公共サービスのあり方を皆さまと考えます。

第1回 10月19日(月)15:00～17:00

ハコモノの実態情報を可視化する

①『フルセット主義と自治体経営』

自治体が抱えるハコモノの現状とその経営課題について解説

②『「施設白書」(公共施設マネジメント白書)をつくる』

「施設白書」の作成を目標に、その基本情報となるハコモノの「コスト」と「実態情報」の把握方法を解説

第2回 10月30日(金)15:00～17:00

可視化したコスト・パフォーマンスを評価する

①『ハコモノ有効活用のポイント』

ハコモノをバリューアップさせるためのポイント解説

②『可視化したコスト・パフォーマンスを比較する』

可視化したコスト・パフォーマンス情報の評価方法、課題抽出、ならびに改善策の立案とその改善効果を解説

第1,2回セミナー講師



佐々木 陽一

PHP 総合研究所
主任研究員

【担当セミナー】
『フルセット主義と自治体経営』
『ハコモノ有効活用のポイント』



望月 伸一氏

ファインコラボレート研究所
代表取締役

【担当セミナー】
『「施設白書」をつくる』
『可視化したコスト・パフォーマンスを比較する』

第3回 11月20日(金)15:00～17:00

『施設白書』(公共施設マネジメント白書)を
活用した自治体経営の実践



穂坂 邦夫氏
前志木市長

基調講演 『自治体経営自立へのシナリオ』

基調講演者:穂坂 邦夫氏

事例報告 『「施設白書」(公共施設マネジメント白書)の作成と活用例』

報告者:藤沢市職員

パネルディスカッション 『「施設白書」の作り方、使い方、自治体経営への活かし方を考える』

パネリスト:穂坂 邦夫氏、望月 伸一氏、藤沢市職員

コーディネーター:佐々木 陽一

PHP 地域経営セミナー

開催日程

【第1回】2009年 10月 19日(月)15:00～17:00
【第2回】 10月 30日(金)15:00～17:00
【第3回】 11月 20日(金)15:00～17:00

<会場> PHP総合研究所 2階ホール（千代田区一番町21番地 一番町東急ビル2階）

お申込み

- ✚ 定 員 :100名 ※定員に達した場合、ご参加をお断りする場合がございます。
- ✚ 参加対象 :公有財産の有効活用にお悩みの自治体首長、職員、議員の方々限定
- ✚ 申込方法 :別紙申込書にご記入の上、FAX、もしくはE-mail(think2@php.co.jp)にてお申してください。お申込完了後、メールでご連絡を差し上げます。
- ✚ 受講料 :全3回分・・・¥10,500-（お一人様・税込み）
- ✚ 支払方法 :受講料のお支払いは参加申込書受領後、弊社より請求書をお送りいたしますので指定銀行口座にお振込みください。（振込手数料は弊社負担）
- ✚ キャンセルについて
 - (1)セミナーをキャンセルされますとキャンセル料がかかります。ご注意ください。
 - (2)やむを得ず欠席される場合は、代理の方のご出席をお願いいたします。
(その場合、なるべくお早めにお知らせください)。
代理の方のご出席も不可能な場合、開催4日前(稼働日)までにご連絡ください。
 - (3)申し訳ございませんが、初回開催3日前(稼働日)以降のキャンセルについては受講料の全額をキャンセル料としていただきます。ご了承ください。

【内容・お申込みに関するお問い合わせ】
(株) PHP 総合研究所 公共経営センター
担当：佐々木、茂原
TEL:03-3239-6222/FAX:03-3239-6273
E-mail:think2@php.co.jp